

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)戸田フーズ追浜第2工場	階数	地上2F
建設地	横浜買市油桶町5丁目2931番地の一部、横浜買市夏島町2873-9	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	186 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年5月22日
敷地面積	19,259 m ²	作成者	松本明建築研究所
建築面積	5,292 m ²	確認日	2017年5月22日
延床面積	6,556 m ²	確認者	松本明建築研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>建物は2階建てで高さは比較的低く抑え、周辺環境への圧迫感がないように計画した。敷地境界付近には緑地を配し、周辺環境への配慮も行っている。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>事務室に関して天井には岩綿吸音板、床はタイルカーペットを採用し、吸音に配慮している。ブラインドを採用しグレアを制御している。作業単位で照明制御できる計画としている。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>OAフロアによりレイアウト変更に対応できるようにしている。執務スペースの1%以上をリフレッシュスペースとして確保し、自動販売機などを設置している。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>敷地内既存緑地を保存し、新たに敷地外周部に緑地を計画する。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>建物で消費される各種エネルギー消費量を年間に渡って把握し、消費原単位等を用いてのベンチマーク比較、分析、妥当性が確認できる。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>有害物質を含まない材料を使用している。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>建物利用者のための適切な量の自転車置き場の確保を行っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される